

Nagoya Noh Theater  
December 2017

平成29年

12月3日(日)

12:30開演(12:00開場)

前売券発売10月3日(火)

名古屋能楽堂

十二月特別公演



能「鉢木」撮影：瀬野雅樹



能「葛城」写真提供：辰巳満次郎



能 「鉢木」(観世流)  
シテ 久保信一朗

狂言 「木六駄」(和泉流)  
シテ 松田 高義

能 「葛城」(宝生流)  
シテ 玉井 博祐

## 名古屋能楽堂 開館20周年記念

### 【能楽師が20周年におくる能・狂言20番】

〈鉢木〉〈葛城〉と冬にちなんだ能にはやはり、「雪」の景色のあるものがよからうと、狂言は〈木六駄〉となりました。

私が初めて狂言に出会ったのが、小学校の五、六年生のころ。テレビで放映される東西の狂言師のその個性際立つ面白さ。品と格がありながら、柔らかく、しかも見終わったあとには何かしらほろ苦く感じる深み。そんな味わいにつよく心惹かれました。その後、ご縁あって名古屋の野村又三郎師に入門し、〈金岡〉〈花子〉のような習い物を披かせていただいたうえに、今回〈木六駄〉を勤める機会を頂戴したのは本当にありがたいことです。本曲は四つの場面で構成されていますが、その酒宴の場では、楽しいお酒を飲みたいと思っています。

【松田高義 和泉流狂言方】

### ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様は今澤美和師製作「作り物ミニチュア」(1名)他 能楽グッズをプレゼントします。

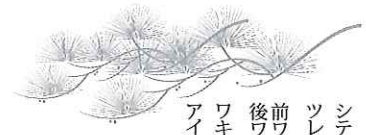
※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

主催



名古屋文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



能 鉢木(観世流)

シテ 佐野常世 久保信一郎
ツレ 常世の妻 吉沢 旭
前ワキ 旅僧 橋本 宰
後ワキ 最明寺入道時頼 橋本 宰
ワキツレ 二階堂某 橋本 宰
アイ 二階堂下人 橋本 宰

地謡 鹿取 希世
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村総一郎
笛 鹿取 希世
前シテ 前野 郁子
後シテ 清沢 一政

狂言 木八駄(和泉流)

休憩十五分

シテ 太郎冠者 松田 高義
アド 主人 藤波 徹
アド 茶屋 野村又三郎
アド 伯父 伴野 俊彦

仕舞 難波(金春流)

シテ 廣瀬 雅弘
地謡 小島 芳樹
鬼頭 尚久
前田 登

仕舞 松風(喜多流)

シテ 長田 曉

仕舞 歌占キリ(金剛流)

シテ 大川 磨美

能 葛城(宝生流)

前シテ 里女 玉井 博祐
後シテ 葛城の神

ワキ 山伏 飯富 雅介
ワキツレ 同行の山伏 梶元 正樹
小鼓 大野 誠
大鼓 後藤孝一郎
太鼓 河村眞之介
加藤 洋輝

地謡 片桐 真 佐藤 耕司
津田 節哉 衣斐 正宜
石森 智幸 辰巳満次郎
内藤 飛能 和久壯太郎

午後五時開演予定
能鉢木
日本語/三苦佳子愛知産業大学非常勤講師
英語/藤江とお里(通訳ガイド)
能葛城
日本語/橋場夕佳(能楽研究家)
英語/藤江とお里(通訳ガイド)

◆能解説「鉢木」(はちのき)

旅僧に姿を変えた最明寺入道時頼は旅の途中、上野国佐野あたりで大雪に遭い宿を借りようとする。亭主は貧しい家なのでと断り、先の宿場を教えるが、立ち去る僧を気の毒に思い、追いかけて呼び戻し、秘蔵の鉢木を火にくべてもてなす。僧が亭主の名を尋ねると佐野常世と名乗り、領地を横領され貧しい姿となっているが、今でも鎌倉に大事が起これば、一番に駆け参る覚悟だ。その意気語る。(中入)まもなく鎌倉で兵を集めるという命が下り、常世も瘦馬に乗って駆けつける。すると以前の旅僧は実は北条時頼であった。時頼は常世を軍勢の中から探し出し、彼の忠誠を賞して領地を返させ、鉢木の返礼に三柱を与える。常世は喜び勇んで郷里へと帰って行く。

◆狂言解説「木八駄」(きろくた)

奥丹波に住む主人は、都の伯父のもとへ木と炭を荷を六駄ずつ届けるようにと、太郎冠者(召使)に云い付けます。牛に括り付けて雪道を進む道中、峠で茶屋を見つけた太郎冠者は、寒さ凍えながら立ち寄ると...。雪深い山道を、計12頭の牛を引きつ追いつしながら苦心する太郎冠者の情景描写が、見どころの一つとなっています。狂言役者としての課題曲、また秘曲にも匹敵する難曲で、見応え充分と云えましよう。(井上菊次郎)

◆能解説「葛城」(かづらぎ)

出羽国羽黒山から大和国葛城山へ到着した山伏の一行は、山中で吹雪に見舞われ、木陰に立ち寄り、そこに里女が現れ、山伏たちに一夜の宿を申し出て、一行を庵に案内する。庵で女は、「標」と呼ぶ薪を焚いて山伏をもてなし、世の無常を語る。夜も更け、山伏たちが夜の勤行を始めようとするが、自分は葛城の神であり、昔岩橋を架けられなかった罪で役行者の法力により葛城で縛られ苦しんでいると打ち明け、加持祈禱を依頼して消え去る。(中入)山伏たちが葛城の神を慰めようとして折っていると、葛城の神が現れて祈禱を喜び、見苦しい顔を恥じつつ大和舞を舞う。そして、夜が明けて、顔を見られない先にと云って岩戸のなかへ消えていく。

十二月特別公演事前学習講座

11月11日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 十二月特別公演とのセット券600円、一般券1,000円 ほか

◆能「鉢木」「葛城」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

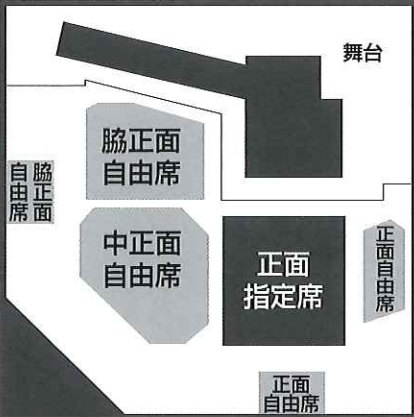
チケット料金(税込) \*前売券発売日 平成29年10月3日(火)

Table with columns for ticket types (指定, 自由) and prices (前売, 一般, 学生).

\*当日券は自由席のみ500円増となります。
\*事業団友の会会員(前売のみ)、障がい者手帳等をお持ちの方(付添1名含む)、事前学習講座とのセット券同時購入は1割引。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
中京テレビ事業/TEL.052-588-4477
柴プレケ92/TEL.052-953-0777
チケットぴあ/TEL.0570-02-9999



\*地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。
「友の会」会員募集中!
公益財団法人名古屋文化振興事業団 TEL.052-249-9385